



實性

令和七年 第二号 春彼岸発行

春のお彼岸のご案内

お彼岸の由来

お彼岸とは…

「暑さ寒さも彼岸まで」ということわざがあるように、厳しかった冬の寒さに別れを告げ、暖かさを感じられる春彼岸の時節となりました。

寺院では法要を営み、ご先祖様のお墓に詣で、「おぼた」などを作って仏壇に供えたりしてご先祖様の供養を行います。

「彼岸」とは、「こちら側の岸」（現在私達が生きている世界）に対し、「向こう側の岸」つまり、極楽浄土・悟りの世界を意味するのを「彼岸」といいます。

「お彼岸」は、春分の日を中日とした前後三日間の計一週間ですが、お中日には太陽が真東から真西に沈むので、日没の彼方にある西方極楽浄土を想い、敬慕の心をもち、自分を育んで下さったご先祖様に感謝し、極楽浄土に往生したいと決意を新たにすることが「お彼岸」です。

この一週間に、布施・持戒（じかい）・忍辱（にんにく）・精進・禅定（ぜんじょう）・智慧という六波羅蜜（ろくはらみつ）の行を修め、日常生活での反省と、仏道と信仰の実践習慣の一週間です。

自然をたたえ、生物を慈しみ、人々を愛し、ご先祖様を敬い、亡き人を偲び、感謝の気持ちをもって、ご家族揃ってお墓参り致しましょう。

彼岸会法要

● 三月二十日（木・祝日）

お中日 午前十一時より

● 彼岸入り 三月十七日（月）

● 彼岸お中日 三月二十日（木・祝日）

● 彼岸明け 三月二十三日（日）



亡き人・ご先祖様にお供えするものに「灯り」「香り」そして「お花」がございます。「灯り」は、光明、仏の教えが隅々まで照らされることです。「香り」は心を静め心を清め、その場を清めて己をも清めるものです。

「お花」は、花を美しく思う我が心をお供えすることにあります。私共は、花を見て「きれい」と思いますが、その花が美しいという感じる心が大切です。この純粋な真心を差し上げることにあります。もちろん、家庭においても、お客様をお招きする時もお花を飾りお迎えします。自分自身で楽しむこともまたあると思います。その美しき心を仏様に差し上げます。

仏様に差し上げますので、お花の正面は、仏様に向けるのが当然ですが、美しき正面は、反対に、私共に向いて飾りますが、これは、荘厳してお飾りするという事よりも、逆向きにお供えするのは、仏様の「慈悲」の心を表わしています。花そのものは、上げた人に戻され、美しき心だけを頂戴しますとの仏様の慈愛の心です。

本堂では、大きなたくさんのお花を飾ることが多いですが、たくさんのお花は、表を人々に向けてお供え致しますが、裏側に一本だけ仏様に向けています。

亡き人の好きだったお花、ご自身が好きなお花と、清らかな心を持ちお供えしたいものです。



《仏壇の供花と香炉》



法然上人涅槃図

一月二十五日は宗祖法然上人の御命日です。各総本山では四月に忌日法要厳修されます。この法要を「御忌」（ぎよき）と読みます。法然上人のみに許された読みかたです。

左図の「法然上人涅槃図」は、法然上人の入滅の時が描かれています。大勢の弟子にかこまれ、合掌なされ、「南無阿彌陀仏」のお念仏を弟子と共に唱えられながら念仏往生なされました。



法然上人涅槃図



椿と柳

修正会報告

令和七年度「修正会」は、昨年度に続き、住職・副住職・寺族のみにて厳修致しました。

「御札」「お守り」「絵馬」等を祈願致しました。



土札



お守り



御札



交通安全ステッカー



絵馬

華嚴王菩薩奉納

菩薩像奉納

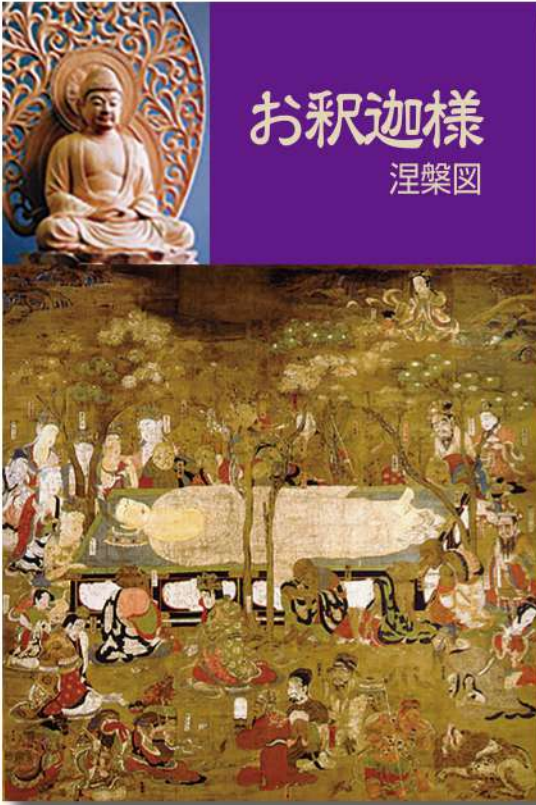
為 妻君三回忌追善供養
 施主 文京区 瀧沢 延彦 様



涅槃会

二月十五日は、お釈迦様の亡くなられたご命日です。左図の涅槃図は、お釈迦様の入滅のご様子が描かれています。

お釈迦様は、伝道の旅の途中、病にたおられ、自ら死期を悟られ、沐浴をされ、沙羅双樹の林の中に横たわれ、最後の説法をなされました。頭を北に、顔を西に向け、十代弟子、老若男女、鳥獣たちさえも嘆き悲しむ様子、また、忉利天たうりてんより駆けつけられたお釈迦様の母君、マヤ夫人の姿も描かれています。



四月八日(火)は、お釈迦様がお生まれになられた誕生日です。「灌仏会かんぶつえ」といえます。お釈迦様の誕生をお祝いし、誕生仏に甘茶をかけお祝いいたしましょう。

お彼岸より本堂前(御拝)に花見堂が出ております。どうぞお参り下さい。

(お参りいただいた方に甘茶ティーパックを差し上げています)

四月八日は

お釈迦さまの

誕生日



節分会

二月三日節分に、毎年床の間に掛けます「掛け軸」をご紹介します。この画讃は、釜師 長野埜志師が描かれたものです。

怒ろしや
かぞえも
いかぬ
まめのかず



と讃があります。年の数だけ豆を食べるのは少々大変となりました。(笑)

今年も境内に紅白の梅が咲き始めました。これからの季節多くの花が咲きますのでお楽しみ下さい。

境内の 花



◆ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くとも十日前迄にお申し込み下さい。お電話よりファックスの方が正確です。のご利用下さい。

ファックス番号 03(3883)3227

振替口座 00190-6-258873

※振込用紙をご入用の方はお申し出下さい。

〒121-0061 東京都足立区花畑三十七-十八
電話 03(3883)8866

浄土宗 實性寺

<http://www.jisyoji.com>

